

FUKU-FUKU



「かぼすけのふんすい」学研



「ふしぎな五百のぼうし」学研



「ゾウのホートン たまごをかえす」学研

隆ゆかいな展 一えほん



「てんくのたいこ」トッパンのおとぎえほん



横山隆一といえば、まんが家として「フクちゃん」に代表される4コマまんがが有名ですが、絵本の仕事も数多く手がけました。

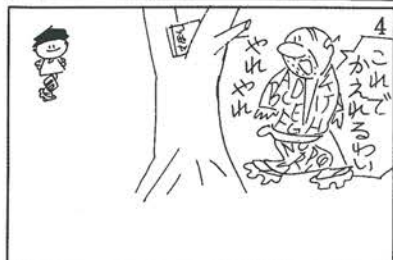
「やんちゃな子どもたちが活躍する「フクちゃん」は、戦前・戦中と子ども向け絵本や、映画になり人気を博しましたが、それ以前にも主婦の友社の「まんが家」による絵本「シリーズ」で絵本を描いています。昭和30年代以降は、フレール館の「トッパンのおとぎえほん」を手がけたほか、その後長く「キンダーブック」へ「ころころくん」などの幼児向けまんがを連載してきました。

学研では学年別の雑誌「2年の学習」などで昔話を発表し、その流れから、昭和40年代には多くの子どもが楽しんだ絵本がいくつも出版されています。「くわんたらふね」、「うそつりおじさん」、「かぼすけのふんすい」といった、オリジナルのカラー絵ばなしシリーズ、アメリカの人気絵本作家ドクター・スーアの「ゾウのホートン」シリーズ、「ふしぎな五百のぼうし」シリーズなどの絵をリライティングしています。

今回、学研からこれらの原画が発見され、その他の隆一作品とあわせて460点余りが横山家からまんが館に寄贈されたことから、そのお披露目を兼ねて企画展として絵本を紹介いたします。また、完成しながら未発表となっていた絵本原画も紹介します。

おとなにとっては懐かしい、子どもたちにとっては新しい、おもしろい絵本との出会いがあることでしょつ。20冊ほどの絵本の原画や、立体による絵本の表現など、ご家族みんなで楽しんでください。

フクちゃん 横山隆一 (1958年)



期 間 ● 2018年7月14日(土) ~9月24日(月・祝)

場 所 ● 横山隆一記念まんが館 企画展示室

時 間 ● 9:00~18:00 (最終入館17:30)

休館日 ● 月曜日(7/16、9/17・24は開館)

観覧料 ● 一般300円
団体(20名以上)240円
高校生以下無料

※本企画展をご覧の方は、常設展を200円で観覧できます(一般410円のところ)

主 催 ● 公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

関連イベント

★隆一絵本ろうどく会

高知県出身の声優・島本須美さんに、隆一えほんの読み聞かせをしていただきます。

日 時 ● 7月21日(土) 14:00~15:00

場 所 ● 高知市文化プラザかるぼーと 小ホール

参加料 ● 無料 (ただし、一般の方は、隆一えほん展観覧券の半券が必要です)

ゲスト ● 島本 須美

申 込 ● 電話またはHPより 先着200名



第14回まंगाの日記念

4コマまんが大賞

作品募集中

行事案内
INFORMATION



横山隆一記念まんが館
9/11

“フクちゃん”を代表作とする横山隆一が、4コマまんがの名手であったことや、ストーリーまんが全盛の時代に4コマまんがの良さを見直していこうという主旨のもと、故やなせたかしさんのご支援を頂き2005年に始まったこの賞も、今回で14回目となります。毎回全国から多くの方々にご応募いただいております。一般のフクちゃん大賞50万円のほかに下記の通り豪華な賞金・賞品が人気です。審査は高知のまんが家、くさか里樹さんと矢野徳さんが務めます。

今の時代を切り取ったものや、日常の出来事を取り上げたものなど、4コマまんがならではのアイデアや発想力溢れる作品をお待ちしています。

★募集内容

部門	一般部門(中学生以上)・ジュニア部門(小学生以下) ※プロ・アマ不問
応募規定	<ul style="list-style-type: none"> 白黒またはカラーの4コマまんが(生原稿) 用紙 B4縦(縦25.7cm×横36.4cm)の市販のケント紙、画用紙、まんが用原稿用紙 作品 縦32cm×横10cmの「縦4コマ」形式 自作の未発表作品に限る ・1人につき3点以内 コンピューターグラフィックスは不可 ※詳細はまんが館ホームページをご覧ください。
締切	9月11日(火) 必着
発表	10月下旬 まんが館ホームページ・館報「FUKU-FUKU」等で発表
表彰式	11月3日・4日の「まんさい-こうちまんがフェスティバル2017」内

★賞金・記念品

賞(点数)	一般部門	ジュニア部門
フクちゃん大賞(1点)	賞状・賞金 50万円	賞状・図書カード 2万円
高知市長賞(1点)	賞状・賞金 10万円	賞状・図書カード 1万円
やなせ兎賞(1点)	賞状・賞金 10万円	賞状・図書カード 1万円
よさこい賞(数点)	賞状・賞金各5万円	賞状・図書カード各5千円
学校賞(数点)		賞状・トロフィー

★申し込み・お問い合わせ先

〒780-8529 高知市九反田2-1 高知市文化プラザかるぼーと内
横山隆一記念まんが館
TEL088-883-5029 FAX088-883-5049 <http://www.kfca.jp/mangakan/>

ゆかいな隆一えほん展

行事案内
INFORMATION

関連イベント

隆一絵本ろうどく会



「かほろのふんすい」一学研

島本須美さんは、高知県出身で、アニメ映画「風の谷のナウシカ」のナウシカ役や、テレビアニメ「それいけ!アンパンマン」のしょくばんまん役、「名探偵コナン」の主人公・工藤新一の母親役などをしていく声優さんです。今回は島本さんに、隆一の絵本から、未発表絵本「ふうせんどり」ほかの絵本を朗読していただきます。小さなお子さんから、大人のかたまで、どなたでも楽しめる朗読会です。ご家族で、またお友達とぜひご参加ください。



「ふうせんどり」

島本須美



出演者プロフィール

島本須美(しまもと すみ)
高知県高知市出身 声優・ナレーター

主な出演作品

ア ニ メ ● 風の谷のナウシカ(ナウシカ)
それいけ!アンパンマン(しょくばんまん)
となりのトトロ(おかあさん)
小公女セーラ(セーラ)
めぞん一刻(音無響子) ほか
ナレーション ● 『探検バクモン』(NHK)
『和風総本家』(TV東京) ほか
コンサート司会 ● 『ジブリの思い出がいっぱい』 など



窪之内英策 原画展

EISAKU KUBONOUCHI

原画展

4.28 sat → 7.1 sun

横山隆一記念まんが館



イラスト・窪之内英策 / (C)『魔女の宅急便』角野栄子 作 福音館書店 刊

開催期間 ● 2018年4月28日(土)～7月1日(日)
開催場所 ● 横山隆一記念まんが館 企画展示室
時間 ● 9:00～18:00(最終入場は17:30まで)
休館日 ● 月曜日(ただし、4月30日(月)は開館)
観覧料 ● 一般1,000円/団体800円/割引200円
大学生・専門学校生800円/団体640円/割引160円
中学生・高校生600円/団体480円/割引120円 団体は20名以上
※小学生以下は無料 ※65歳以上の方及び身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者1名は割引料金で観覧いただけます。 ※本展をご覧の方は、横山隆一記念まんが館常設展を200円で観覧いただけます(一般410円のところ)
主催 公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館、テレビ高知

また、制作・放送された日清食品カップヌードルテレビコマーシャル、HUNGRY DAYSシリーズ、も各コーナーでご覧いただけますので、原画との比較もお楽しみいただけます。窪之内英策が描く青春の香り漂う原画の数々をお楽しみください。

高知県出身のまんが家で「ツルモク独身寮」「シヨウラ」などを始めとする大人気まんがの作者として知られ、現在は話題のCMやCDジャケットを手掛けるカリスマイラストレーターとして絶大な人気を誇る窪之内英策。色鉛筆やマーカーを用いて描き出す、美麗で生き生きとしたキャラクターたちは、年齢を問わず多くのファンを魅了し、特に若い女性から支持を得ています。本展覧会では、窪之内英策の最新作である日清食品カップヌードルテレビコマーシャル、HUNGRY DAYSシリーズ、「魔女の宅急便篇」「サザエさん篇」「最終回篇」の原画をはじめ、「関連イラスト」や「没イラスト」を多数展示。

行事案内
INFORMATION

EISAKU KUBONOUCHI

窪之内英策
原画展

★イベント詳細

開催日	2018年 7月 31日(火) まんが風鈴をつくろう!
	1日(水) まんが石けんをつくろう! 18日(土) ぱっくんアニマルをつくろう!
開催場所	まんが館まんがライブラリー2
	時間 各日 10:30~12:00 13:30~15:00
	対象 小学生
定員	各コース30名(要事前申込)
参加費	500円(材料費含む)



今年はどうな作品ができるかな? ※写真は昨年のイベントの様子です

行事案内
INFORMATION

2018夏休み
まんが体験イベント
めざせ! まんが職人

夏休みの大人気企画、まんが体験イベント「めざせ! まんが職人」を今年も開催します。あなたの工夫次第で楽しくて世界にたっただけの作品ができあがります。

三植木鉢にまんがを描いてオリジナルの風鈴を制作する「まんが風鈴をつくろう」や、箱を動物園に見立てて、その中に想像上の動物を描く「まんが動物園をつくろう」など全6コースから選んでね。



申し込み方法など、詳しくは横山隆一記念まんが館までお問い合わせください。



- ①会場入口で目をひいた合作ジオラマ「桃源郷」
- ②ぱっくんアニマルをつくろう!
- ③子どもまんが教室 まんがの描き方入門!



期間 2018年3月17日(土)~4月8日(日)
場所 横山隆一記念まんが館企画展示室

恒例のチャリティー似顔絵コーナーも「思い出に残る記念になりました」と好評で、お目当ての作家さんの担当日を確保して来場する人も。集まった募金10,672円は、NPO法人高知子どもの図書館に寄付されました。

今回で16回目を迎えた高知漫画集団と高知漫画グループくじらの会による合同作品展は、作家さん達のアイディアとユーモアが満載作品で笑い溢れる企画展となりました。

合作ジオラマの今年のテーマは「桃源郷」。作家それぞれが考える「桃源郷」のイメージが立体オブジェとなつて不思議な世界を作り出しました。また、競作テーマは「幕末維新博」にちなんだ「文明開化」。ちよつと皮肉を効かせた作品や、ほのぼのする作品など力作8点が入り口を飾りました。自由作品コーナーでは、春野地区の発展に力を尽くした小島祐馬博士の生涯を描いたフナムシさんの紙芝居や折り込みちらしを作品に取り込んだ種田英幸さんの「コラージュ」など個性溢れる作品が会場を埋め尽くしました。



行事報告
REPORT

まんが・漫画・マンガ展! 2018
高知漫画集団・高知漫画グループくじらの会
合同作品展

叔母が集めていた竹宮恵子や萩尾望都が描く美少年たちが登場するまんがには、子供心にも大つぱらに読んではいけなくてドキしながら読んだことを覚えています。そこから始まった私とまんがとのつき合いは途切れることもなく、やがて自分で描くようになった頃には、まんがを人に読んでもらうことにドキドキして、そしていま、まんがが家の卵たちと関わるようになってからは、彼ら彼女らの苦労や成長にドキドキさせられています。

「屋根の上のまんが読み」
一番古いまんがの記憶は、小学校低学年の頃。祖父母の家に置いてある、叔父や叔母が買い集めていたまんがの数々。
叔父の使っていた部屋は納屋の二階にあつて、薄暗い納屋の急なはしご階段をのぼり、伐折羅像の大きなポスターが貼られた扉をくぐり抜けないとお目当てのまんがにたどりつけない。何か出たらどうしよう、と、怖々ドキドキしながら天井の低いシーンとした部屋の本棚までたどりつくと、窓を開けて屋根の上に腰をおろし、「火の鳥」や「時計仕掛けのりんご」などの手塚治虫作品を読みふけて、様子を母に見に来た母に危ないと怒られることも。

叔母が集めていた竹宮恵子や萩尾望都が描く美少年たちが登場するまんがには、子供心にも大つぱらに読んではいけなくてドキしながら読んだことを覚えています。そこから始まった私とまんがとのつき合いは途切れることもなく、やがて自分で描くようになった頃には、まんがを人に読んでもらうことにドキドキして、そしていま、まんがが家の卵たちと関わるようになってからは、彼ら彼女らの苦労や成長にドキドキさせられています。



高知インテリーズマガジン編集長

安岡京子

まんがと私



行事報告 REPORT

隆一資料、横山家より追加寄贈

横山隆一が生前アトリエ、書庫として使用していた建物を、ギャラリー「ヨコ」として、作品展示や貸しスペースとして利用していましたが、昨年そこを建て直すと当たり、そのギャラリーに保管・展示されていた隆一作品寄贈の申し出が横山家からありました。加えて出版社から大量の絵本原画が返却されたとのことで、計462点という資料が平成30年2月にまんが館に寄贈されました。

そのほとんどは油絵、墨絵、水彩などの平面作品で、年を重ねても子どもの心を持ち続けた隆一の作品はユーモアに溢れ、色使いも斬新で4コマ漫画のモノクロの世界とは違った力強い作品ばかりです。

今回の寄贈で資料群はさらに充実したものとなりました。絵本原画は7月14日から始まる「ゆかいな隆一えほん展」で紹介させていただきますが、今後も企画展はもちろんのこと、それ以外の活用も模索していきたいと考えています。



行事報告 REPORT

「花見の宴」開催



関係者の方々にも心から楽しんでいただけたようです。また、参加者同士の名刺交換や写真撮影も盛んにおこなわれ、年に一度の「花見の宴」は大いに盛り上がりました。閉宴後も、みなさん話が尽きず会場から熱心に語りながら、夜の街へと消えて行かれた方々も見受けられました。花見が人と人をつなぎ、普段出会わない人達が出会い、そうして高知のまんが文化が発展すると思えました。

鎌倉の横山邸にあった八重桜を接ぎ木して育てた「フクちゃん桜」を囲んで交流するまんが館恒例の「花見の宴」が、4月7日午後6時30分より、かるぽーと1階のレストランで開催されました。14回目となる今回は県内まんが家をはじめ、文化・経済・行政関係者約80人が集まりました。7月にオープンする、高知みらい科学館の高橋信裕館長の乾杯で開宴となりました。あいにく天候には恵まれませんでした。八重桜は満開に咲き、東京からご参加いただいた横山隆一長男・隆雄さんはじめ、ただいた横山隆一長男・隆雄さんはじめ、

行事報告 REPORT

こ・まんさい開催!

おなじみとなった「まんが王国・土佐・in土佐のおきやく・こ・まんさい」が、3月3日・4日にはりまや橋商店街で開催されました。

例年雨や風に悩まされるこのイベントも、今年は比較のおだやかな天候に恵まれ、恒例となったまんが体験イベントやお楽しみ抽選会などを楽しむお客さままで賑わい、かるぽーとで開催されている全国漫画家大会議や土佐のおきやく・こ・まんさいにも商店街を盛り上げました。

毎年楽しみに来場される方も多い、地元キャラクタのクラフトは「ぶんちゃん」「しんじょう君」「やまぴょん」の3人(?)が登場。熱心に取り組む姿が、商店街で買い物をする毎に挑戦できるお楽しみ抽選会では空くじなしとあってどの賞品を選ぶか真剣に悩む姿が見られました。

「こ・まんさい」は今年で5回目の開催となりましたが、毎年楽しみに来てくださるお客様も増え、春のまんがイベントとして定着してきたようです。

行事報告 REPORT

春のMEGAMAN研開催!

こうちまんがフェスティバルの企画のひとつ、「まんがが描きたい!」人を応援するMEGAMAN研が、4月7日・8日の2日間わたってかるぽーとで開催されました。好きな時に来て、好きなだけ描いて、そしてまんがの描き方から部誌・同人誌の作り方まで聞きたいことをアドバイザーとしてもらえるこのイベントは、毎回たくさんのまんがが好きな熱気が溢れんばかりです。2日目の8日には、プロのまんが家として活動している雪本愁二さんも来場。あこがれのプロ作家からのアドバイスをもらえるとおって、参加者が熱心にアドバイスを聞き入る姿も見られました。



まんがを描いたり、好きなまんがについて話したり

館のご案内

開館時間 9:00~18:00
 休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)
 年未年始(12月28日~1月4日)
 常設展示観覧料 一般410円
 団体(20名以上) 320円・65歳以上200円・高校生以下無料
 身体障害者手帖(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円
 お問い合わせ先 〒780-8529 高知市九反田2-1
 高知市文化プラザかるぽーと内
 横山隆一記念まんが館
 TEL: 088-883-5029
 FAX: 088-883-5049
 URL: http://www.kfca.jp/mangan/ E-mail: mangakan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、高知市文化プラザかるぽーと3階入り口よりご入場ください。

新着図書(2018年4月)

「江川と西本」1~8巻 星野泰視/森高夕次
 「真中華一番」1~6巻 小川悦司
 「花に染む」1~8巻 くらもちふさこ
 「響~小説家になる方法~」1~8巻 柳本光晴
 「BLUE GIANT ブルージャイアント」1~10巻 石家真一
 「FAIRY TAIL フェアリーテイル」1~30巻 真島ヒロ
 「つるまき町夏時間」コマツシンヤ
 「女の子が生きていくと、覚えてほしいこと」西原理恵子
 「出陣★昆虫武将チョウソカベ!」1巻 森田将文
 「本能寺の変の変」黒鉄ヒロシ
 「苦節十年記 旅籠の思い出」つげ義春
 「機巧亭茶館」山田章博
 「ゆかいな聞き耳ずきん」若本久則
 「夜廻り猫」1~3巻 深谷かほる
 続刊「ONE PIECE」88巻
 「BTOOOM!!」25巻
 「甘い生活2nd season」9巻
 「TYPE-MOON学園 ちびちゅき!」5巻など
 その他たくさん入っています。



◆まんが館勤務になって知ったこと、まんが読み放題。図書館は静寂さが求められるけど、まんが館はもっと気楽な場所(高校生以下は入場無料、ライブラリーは誰でもまんが読み放題)。こんな素敵な場所をどれだけの人が利用しているのか? 一日平均100人。実にもったいない! もはや隠れ家的存在。「オウゴン」と聞くとどう感じるだろう? 私は、一時代を築いたコンテンツに与えられる名誉称号だと思う。市民運動によって生まれたまんが館はどのような存在なのでしょう? オウゴンの産物、まんが館。みなさんはどう活用したいですか?(大)